

映画の教室

2018

時代から観る日本アニメーション

歴史的な文脈を観る全5回！

2018年5月9日【水】・23日【水】・6月6日【水】・20日【水】・7月4日【水】

時間：各日7:20 pm開始・7:00 pm発券・開場（研究員による約15分の解説付き）

各回の開始後の入場はできません。

会場：国立映画アーカイブ小ホール（地下1階）定員：151名（全席自由席）

101年にわたる長い歴史を持つ日本アニメーションは、世界が注目する文化にまで育ちました。その過程で、日本のアニメーションは教育、PR、戦意高揚、テレビ、劇場用商業アニメーションなどさまざまな形で製作・発表されてきました。2017年の「素材から観る日本アニメーション」に続く第二弾として、今回は現存する最古の日本のアニメーション『なまくら刀』（1917年）から、『いばら姫またはねむり姫』（1990年）まで、日本のアニメーションの歴史的な文脈を観ていきます。各回、研究員による解説付きです。映画の基礎を学びたい方々のご参加をお待ちしています。

 国立映画アーカイブ
N F A J National Film Archive of Japan

 長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

東京国立近代美術館フィルムセンターは、2018年4月1日より国立映画アーカイブとなりました。





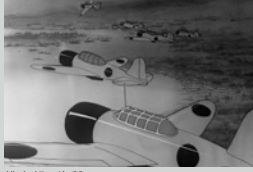
なまくら刀【新最長版】



蟹満寺縁起



茶目子の日【リテートキー版】【デジタル復元版】



桃太郎の海鷲



プラス 50000 年



ある街角の物語



チコタン ぼくのおよめさん

1 — 5月9日【水】 | 日本アニメーションの草創期 (計57分)

日本にアニメーション映画が輸入されはじめた頃、エミール・コールの「凸坊新画帳」シリーズが大きな人気を呼んだ。また、ドイツの影絵アニメーション『カリフの鶴』などは日本のアニメーションに大きな影響を与えたと言われる。その後、日本では教育映画の製作もさかになり、漫画映画、線画映画などと呼ばれる中、アニメーションの技術が発展していった。現存する最古の日本アニメーション『なまくら刀』、初期の影絵映画『蟹満寺縁起』、初の文部省委託のアニメーション『線画 つば』などを紹介する。

- ファントーシュたちの恋のさやあて *Drame chez les Fantoche* | (4分・18fps・35mm・白黒・無声)1908(ゴモン)(監)エミール・コール
- なまくら刀【新最長版】 | (5分・16fps・35mm・染色・無声)1917(小林商会)(作画)幸内純一
- カリフの鶴 *Karif Storch* | (20分・24fps・35mm・白黒・無声・英語版)1923(コロナ・フィルム)(監)エドヴァルト・マティアス・シューマッハー
- 蟹満寺縁起 | (11分・24fps・35mm・白黒・無声)1924(朝日キネマ合名社)(監)奥田秀彦、木村白山、内田吐夢
- 線画 つば | (17分・16fps・35mm・白黒・無声)1925(文部省)(監)山本早苗

2 — 5月23日【水】 | 戦前—トーキーへの移行とPR映画 (計50分)

1930年前後は世界的にトーキーの技術が開発され発展し、日本でもアメリカのトーキーアニメーションが映画館で人気を博した。その後J.O.スタジオなども開設され、日本のアニメーションも本格的にトーキー化した。また、その頃は反戦アニメーション『煙突屋ペロー』といった思想的なアニメーション映画も製作されるようになった。『三匹の小熊さん』はプロレタリア芸術運動家の岩崎昶が監督、村山篤子原作、村山知義作画のモダンな作品。

- 煙突屋ペロー | (23分・16mm・白黒)1930(童映社)(監)田中喜次
- 三匹の小熊さん | (12分・18fps・35mm・白黒)1931(婦人之友社)(監)岩崎昶
- 茶目子の日【リテートキー版】【デジタル復元版】 | (7分・35mm・白黒)1931(協力映画製作社)(監)西倉喜代治
- オモチャ箱シリーズ第3話 絵本 1936年 | (8分・35mm・白黒)1934(J.O. 発声漫画部)(作画)中野孝夫、田中喜次、舟木俊一、永久義郎、平泰陣、西口照

3 — 6月6日【水】 | 戦中期—戦意高揚映画 (計63分)

戦争の色へと染まっていった日本は1939年に映画法を施行し、戦中は軍部による映画製作も行われ、とりわけ海軍省が積極的だった。真珠湾攻撃を題材にした『桃太郎の海鷲』は映画法施行後、初めて文部省推薦を受けたアニメーション作品である。『フクちゃんの水艦』は、当時の大人気漫画の「フクちゃん」を主人公にした戦意高揚アニメーション。両作とも海軍省後援映画。

- 桃太郎の海鷲 | (33分・35mm・白黒)1942(藝術映書社)(監)瀬尾光世
- フクちゃんの水艦 | (30分・35mm・白黒)1944(朝日映画社)(監)関屋五十二、横山隆一

4 — 6月20日【水】 | 戦後①—本格的な商業展開 (計61分)

戦後すぐに設立された新日本動画社はほどなく分裂し、山本早苗と政岡憲三は日本動画を設立。そこには後に『白蛇伝』を演出する数下泰司が参加していた。その後、東映動画、虫プロなどが設立され、本格的に劇場公開長編アニメーションやテレビ向けに作品が製作されるようになる。『こねこのらくがき』は東映動画第一弾として発表。後にスタジオ・ゼロを設立し、数々のテレビアニメーションに携わることになる鈴木伸一は、おとぎプロで『プラス 50000年』を監督した。

- すて猫トラちゃん | (21分・35mm・白黒)1947(東宝教育映画)(監)政岡憲三
- こねこのらくがき | (12分・35mm・白黒)1957(東映動画)(監)数下泰次
- 注文の多い料理店 山ねこ軒 | (19分・35mm・白黒)1959(学習研究社)(監)小野豪
- プラス 50000年 | (9分・35mm・カラー)1960(おとぎプロ)(監)鈴木伸一

5 — 7月4日【水】 | 戦後②—アニメーション作家による発表 (計71分)

商業的に映画館やテレビ向けにアニメーションが製作される一方、作家による作品発表も活発になった。三人の作家によって結成された「アニメーション三人の会」の上映会はフェスティバルとして成長し、虫プロダクションの第一作『ある街角の物語』など、国内外の作家の作品を紹介した。日本の人形アニメーション作家を代表する岡本忠成と川本喜八郎は、アニメーションと人形劇のショウ「パペットアニメーション」を開催し作品を発表した。

- ある街角の物語 | (39分・35mm・カラー)1962(虫プロダクション)(監)山本映一、坂本雄作
- チコタン ぼくのおよめさん | (11分・35mm・カラー)1971(学習研究社)(監)岡本忠成
- いばら姫またはねむり姫 | (21分・35mm・カラー)1990(今日川本プロ=クラー・トキー・フィルム・プラハ=イジィ・トルンカ・スタジオ)(監)川本喜八郎

■(監)＝監督・演出 ■特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。 ■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。 ■スタッフの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。

■前売券【Pコード：558-427】

4月17日【火】10:00 amより、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各70席分)を販売します。各上映の前日11:59 pmまで販売。

前売料金：一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円

- 別売券手数料がかかります。●学生、シニア(65歳以上)の方は証明できるものをご提示下さい。
- チケット購入方法や手数料については、国立映画アーカイブのサイト (www.nfaj.jp/exhibition/filmclassof2018-animation)をご覧ください。

■当日券(発券=地下1階受付)

料金：一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、東京国立近代美術館及び国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

- 当日券で入場される方には、開館と同時に、入場整理券を1階ロビーにて発券いたします。各日の開館時間はホームページをご覧ください。●当日券の発券は、定員に達し次第締切ります。●学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。●発券は各回1名につき1枚のみです。

■入場方法

●前売券をお持ちの方は、開場時(7:00 pm)に前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。●その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。前売券をお持ちの方は、随時ご入場いただけます。●前売券・当日券は当日当該回のみ有効です。●各回7:20pm開始。開始後の入場はできません。

映画の教室とは

映画芸術や映画保存を学ぶ上で重要な作品を、国立映画アーカイブの所蔵作品の中から上映するプログラム。テーマに沿った各5回シリーズ・研究員の解説付きです。シリーズを通して観ることで、より一層映画や作品への理解を深めることができます。

「映画の教室」スタンプカード【観覧券は各回別途必要です】

第1回目(5月9日)の入場時に、「映画の教室 2018 時代から観る日本アニメーション」のスタンプカードを配布し、各上映日に1つずつスタンプを押印します。全5回ご覧いただいた方には、本年度の当館主催上映の入場引換券を1枚謹呈します。

国立映画アーカイブ
NFAJ National Film Archive of Japan

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600
NFAJ ホームページ：www.nfaj.jp

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6

交通：東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線京町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より 徒歩5分
JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

